LIXIL

マンション用大型通用口門扉
― 壁付門柱仕様 ―　取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

警告

● 門扉は人や車が出入りするためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので、設置の場所・目的に合わせて選択してください。

注意

● 正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
● 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
● 門柱を取付ける壁のコンクリートの厚さが80㎜以上あることを前もって確認しておいてください。
80㎜以上だとアンカーボルト用の下孔が壁を貫通して、取付強度低下の原因になります。
● 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

＜施工上のご注意＞

注意

● 外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
● 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

■梱包明細表

1 掛扉セット

名　　称	略　　図	片開き				両開き			
		右吊元		左吊元		右勝手		左勝手	
		内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き
掛扉		1	1	1	1	1	1	1	1
フロントスペーサー		2	2	2	2	2	2	2	2
1-① M4×14 サラ小ネジ		2	2	2	2	2	2	2	2

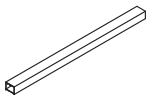
2 受扉セット

名　　称	略　　図	片開き				両開き			
		右吊元		左吊元		右勝手		左勝手	
		内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き
受扉		—	—	—	—	1	1	1	1
調整用受座スペーサー		—	—	—	—	2	2	2	2
受座スペーサー		—	—	—	—	2	2	2	2
2-① M4×14 サラ小ネジ		2	2	2	2	2	2	2	2

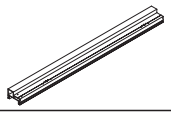
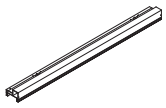
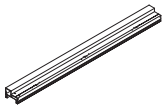
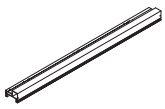
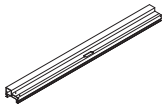
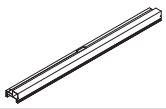
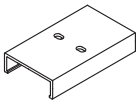
3 戸当りセット

名　　称	略　　図	片開き				両開き			
		右吊元		左吊元		右勝手		左勝手	
		内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き
掛側戸当り　R		1	—	—	1	—	—	—	1
掛側戸当り　L		—	1	1	—	—	1	—	—
受側戸当り　R		—	—	—	—	—	—	1	—
受側戸当り　L		—	—	—	—	1	—	—	—
3-① φ4×10 ピアスネジ		6	6	6	6	6	6	6	6

4 カモイセット

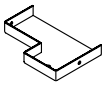
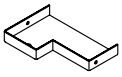
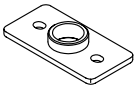
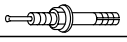
名　　称	略　　図	片開き				両開き			
		右吊元		左吊元		右勝手		左勝手	
		内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き
カモイ　両開き		—	—	—	—	1	1	1	1
カモイ　片開き		1	1	1	1	—	—	—	—

5 壁付門柱セット

名　　称	略　　図	柱A_ オートクローザー仕様								柱B_ 角丁番仕様							
		片開き				両開き				片開き				両開き			
		右勝手		左勝手		右勝手		左勝手		右勝手		左勝手		右勝手		左勝手	
		内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き
壁付門柱A　R		1	—	—	1	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
壁付門柱A　L		—	1	1	—	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
壁付門柱B　R		—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	1	1	1	1
壁付門柱B　L		—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	1	1	1	1
壁付受け門柱　R		—	1	1	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
壁付受け門柱　L		1	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—
壁付門柱フタ		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
壁付門柱カモイ金具		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
壁付金具		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
柱キャップ　R		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
柱キャップ　L		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

■梱包明細表 つづき

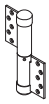
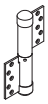
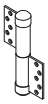
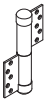
5壁付門柱セット　（つづき）

名　　称	略　　図	柱A_ オートクローザー仕様								柱B_ 角丁番仕様							
		片開き				両開き				片開き				両開き			
		右勝手		左勝手		右勝手		左勝手		右勝手		左勝手		右勝手		左勝手	
		内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き
柱キャップ下　R		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
柱キャップ下　L		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
上落し棒受け		—	—	—	—	1	1	1	1	—	—	—	—	1	1	1	1
下落し棒受け		—	—	—	—	1	1	1	1	—	—	—	—	1	1	1	1
ヒンジ裏板		2	2	2	2	4	4	4	4	—	—	—	—	—	—	—	—
角丁番裏板		—	—	—	—	—	—	—	—	3	3	3	3	6	6	6	6
5-① M8オールアンカー L=70		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
5-② φ4×10 ナベネジ 1種		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
5-③ M5×10 サラ小ネジ		10	10	10	10	20	20	20	20	20	—	—	—	—	—	—	—
5-④ M5×20 サラ小ネジ		10	10	10	10	20	20	20	20	20	—	—	—	—	—	—	—
5-⑤ M4×10 サラ小ネジ		—	—	—	—	—	—	—	—	24	24	24	24	48	48	48	48
5-⑥ φ4×13 ピアスネジ		12	12	12	12	14	14	14	14	12	12	12	12	14	14	14	14
5-⑦ φ4×19 ピアスネジ		16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
5-⑧ φ5×16 ピアスネジ		24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24

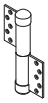
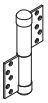
6角丁番セット

名　　称	略　　図	柱A_ オートクローザー仕様								柱B_ 角丁番仕様							
		片開き				両開き				片開き				両開き			
		右勝手		左勝手		右勝手		左勝手		右勝手		左勝手		右勝手		左勝手	
		内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き
角丁番		—	—	—	—	—	—	—	—	3	3	3	3	6	6	6	6

7 オートヒンジ_取扱説明書付

名　　称	略　　図	柱A_ オートクローザー仕様								柱B_ 角丁番仕様							
		片開き				両開き				片開き				両開き			
		右勝手		左勝手		右勝手		左勝手		右勝手		左勝手		右勝手		左勝手	
		内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き
スプリングヒンジ　R		1	―	―	1	1	―	―	1	―	―	―	―	―	―	―	―
スプリングヒンジ　L		―	1	1	―	―	1	1	―	―	―	―	―	―	―	―	―
ダンパーヒンジ　R		1	―	―	1	1	―	―	1	―	―	―	―	―	―	―	―
ダンパーヒンジ　L		―	1	1	―	―	1	1	―	―	―	―	―	―	―	―	―

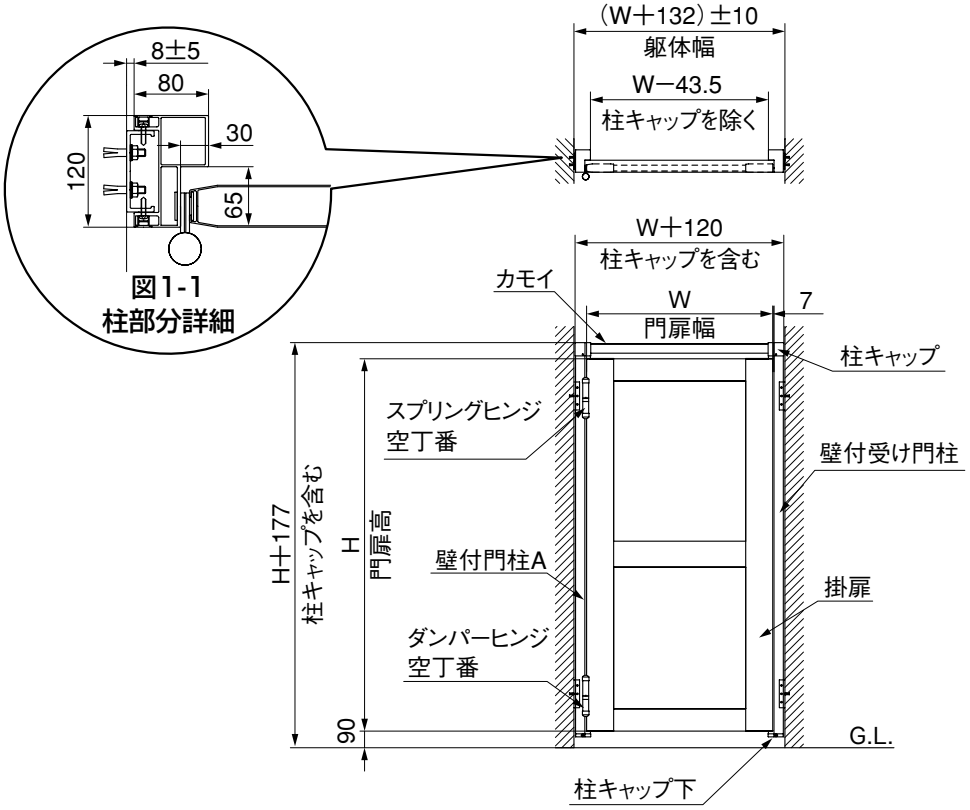
8 空丁番セット

名　　称	略　　図	柱A_ オートクローザー仕様								柱B_ 角丁番仕様							
		片開き				両開き				片開き				両開き			
		右勝手		左勝手		右勝手		左勝手		右勝手		左勝手		右勝手		左勝手	
		内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き	内開き	外開き
空ヒンジ　R		―	―	―	―	―	2	2	―	―	―	―	―	―	―	―	―
空ヒンジ　L		―	―	―	―	2	―	―	2	―	―	―	―	―	―	―	―

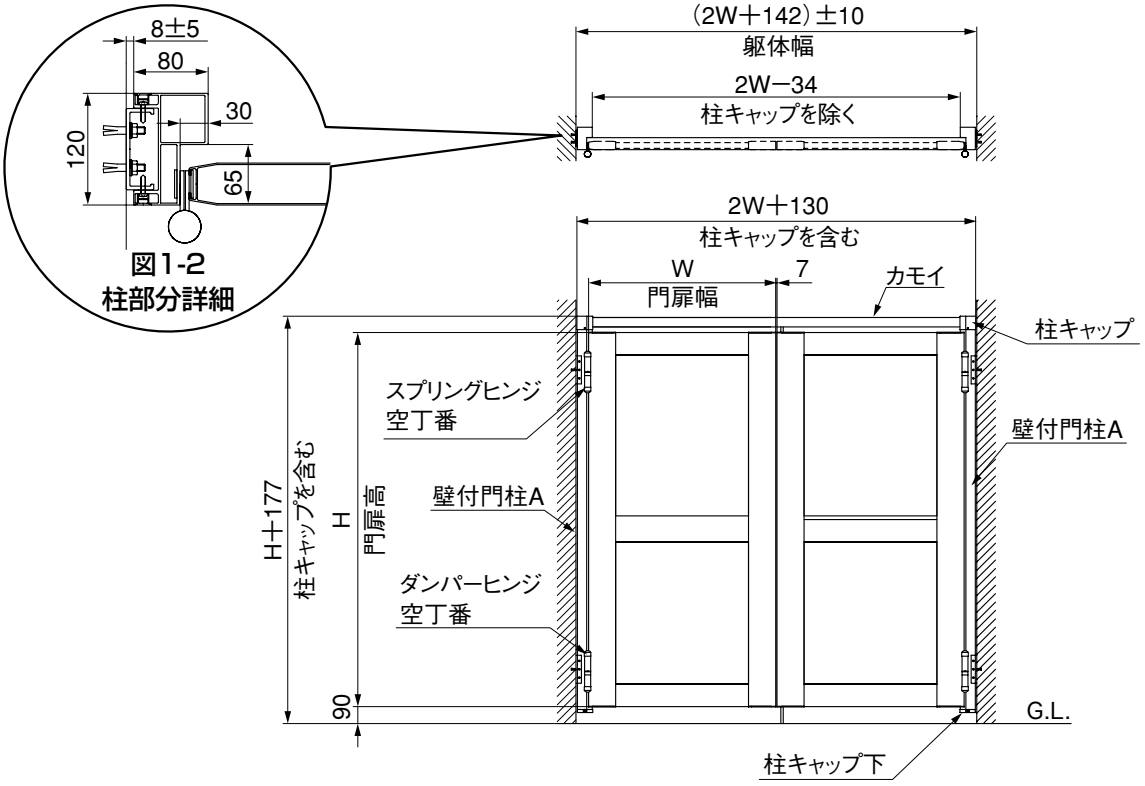
1. 基本寸法と各部名称

1-1 基本寸法

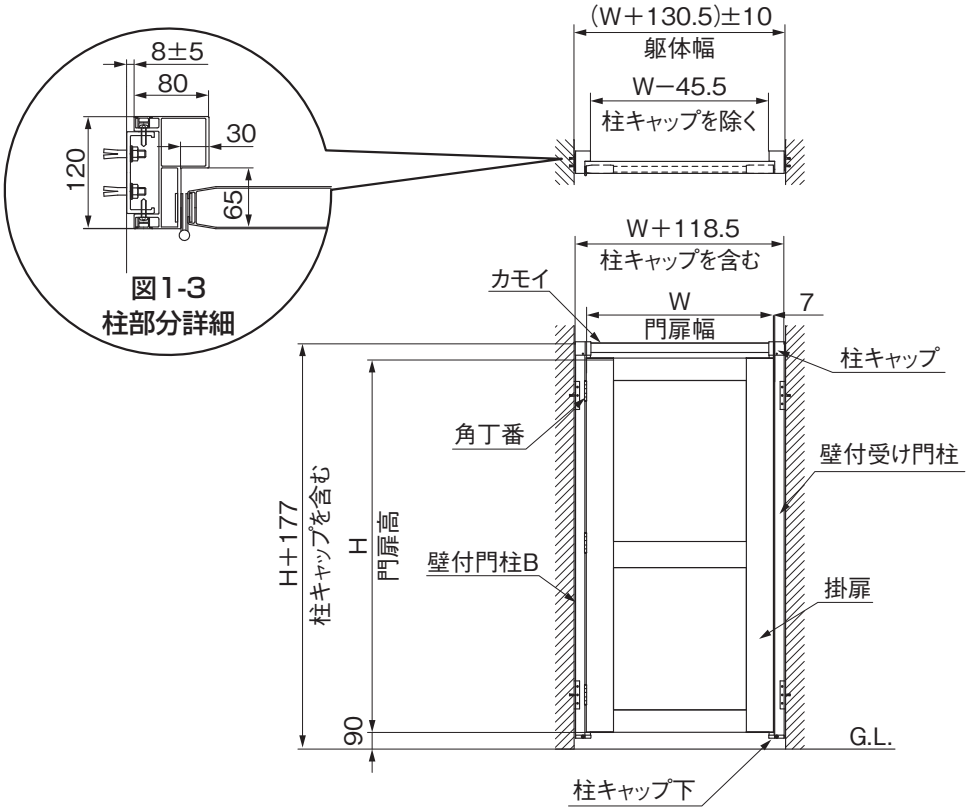
（1）柱A_オートクローザー仕様 片開き



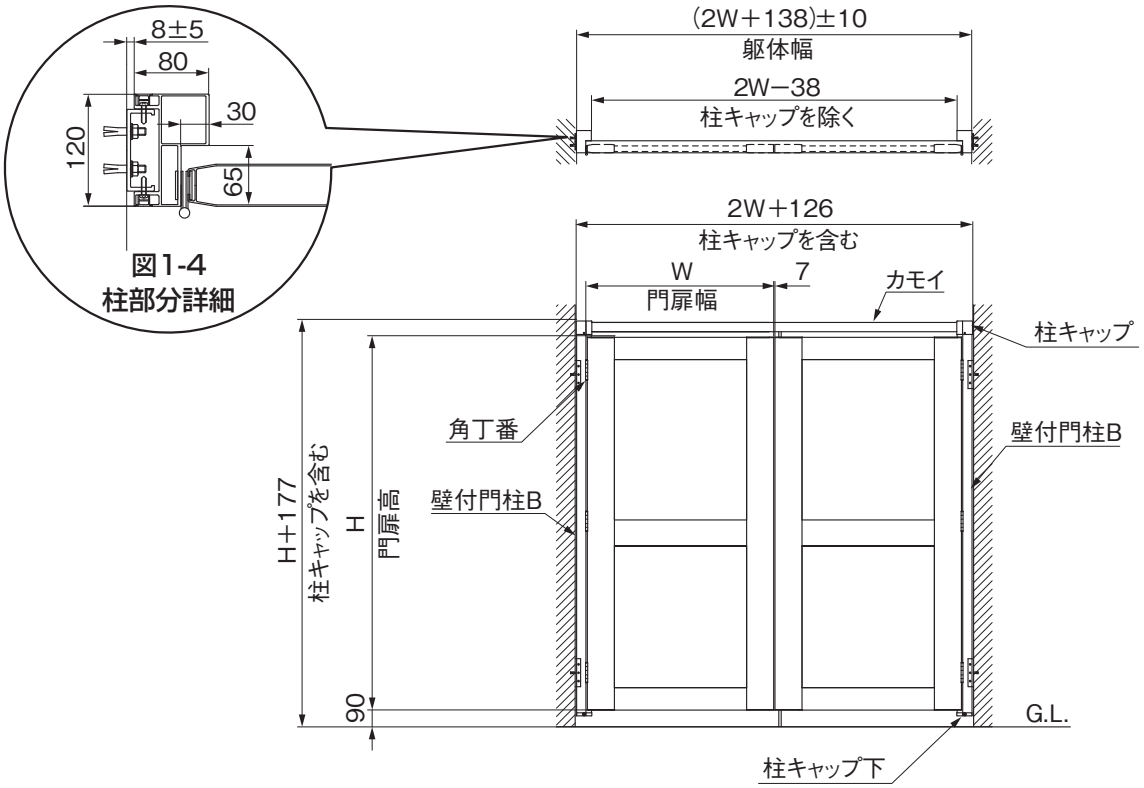
（2）柱A_オートクローザー仕様 両開き



（3）柱B_角丁番仕様 片開き



（4）柱B_角丁番仕様 両開き



1.つづき

1-2 部品配置

（1）片開き

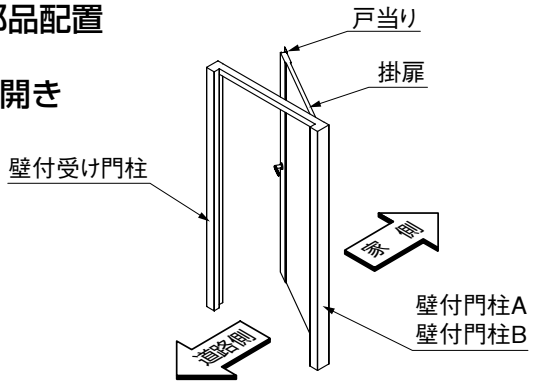


図1-1　右勝手・内開き

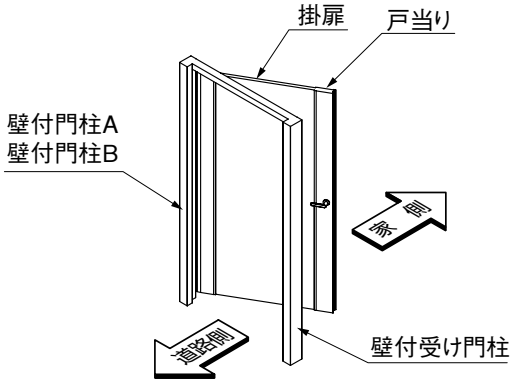


図1-2　左勝手・内開き

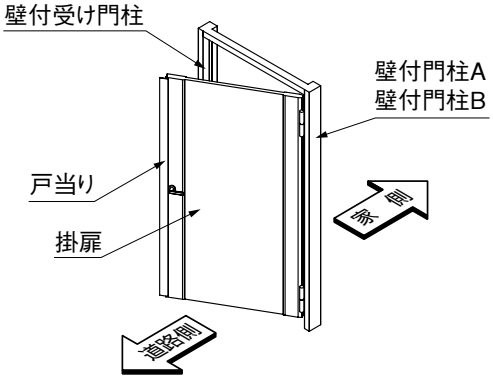


図1-3　右勝手・外開き

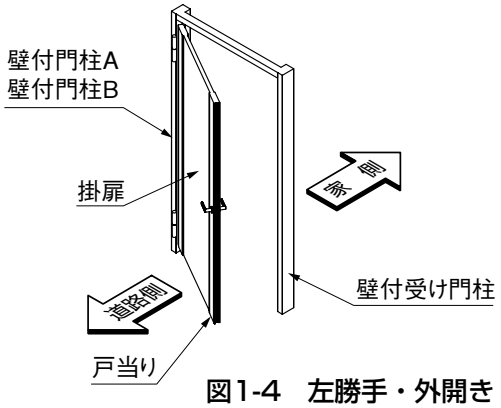


図1-4　左勝手・外開き

（2）両開き

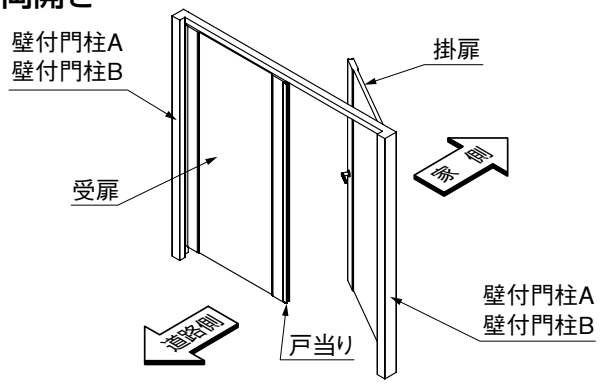


図1-5　右勝手・内開き

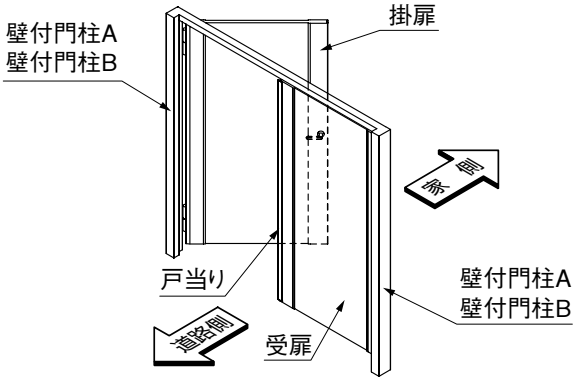


図1-6　左勝手・内開き

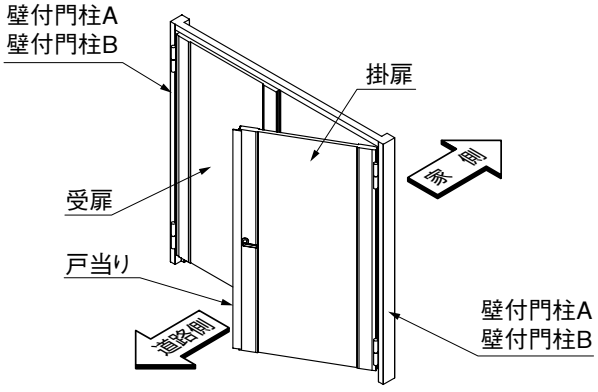


図1-7　右勝手・外開き

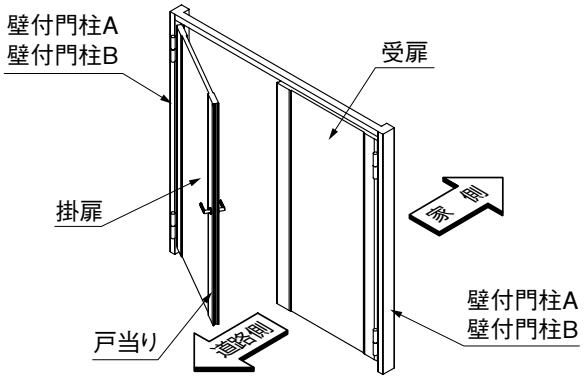
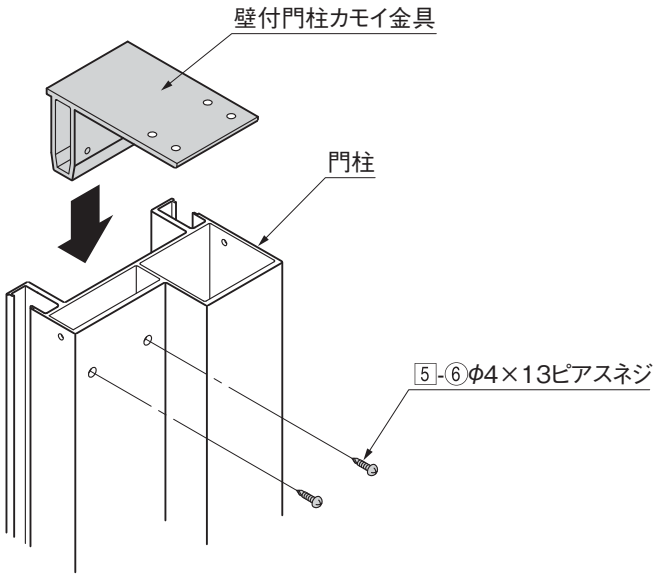


図1-8　左勝手・外開き

2.柱壁付け前の準備

2 -1 門柱へのカモイ金具の取付け

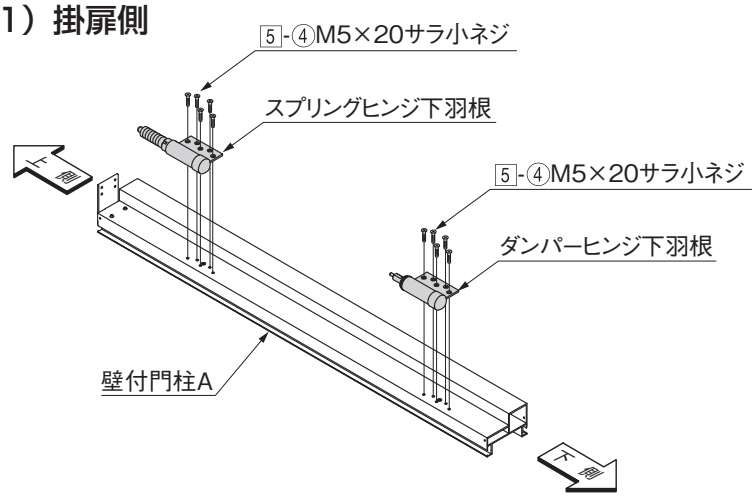


❶ 門柱に壁付門柱カモイ金具を5-⑥で取付けてください。

2 -2 門柱へのヒンジ下羽根の取付け

※柱A_オートクローザー仕様の作業です。
※オートヒンジに同梱の取扱説明書も合わせてご覧ください。

（1）掛扉側

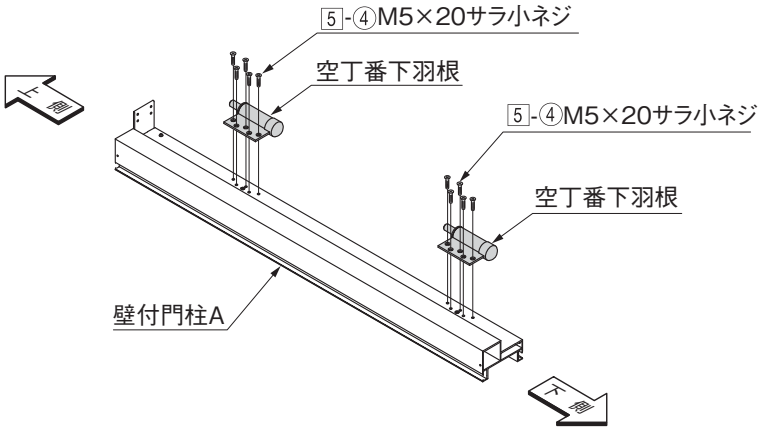


❶ 壁付門柱Aにスプリングヒンジ下羽根，ダンパーヒンジ下羽根を、5-④で取付けてください。

ポイント

- スプリングヒンジ下羽根を柱の上側、ダンパーヒンジ下羽根を柱の下側に取付けてください。
- スプリングピンは後で使いますので捨てないでください。

（2）両開き・受扉側



❶ 壁付門柱Aに空丁番下羽根を、5-④で取付けてください。

補 足

- ヒンジに同梱の木ネジは本製品には使用しません。

ポイント

- スプリングピンは後で使いますので捨てないでください。

3.門柱の取付け

3-1 躯体の墨出し

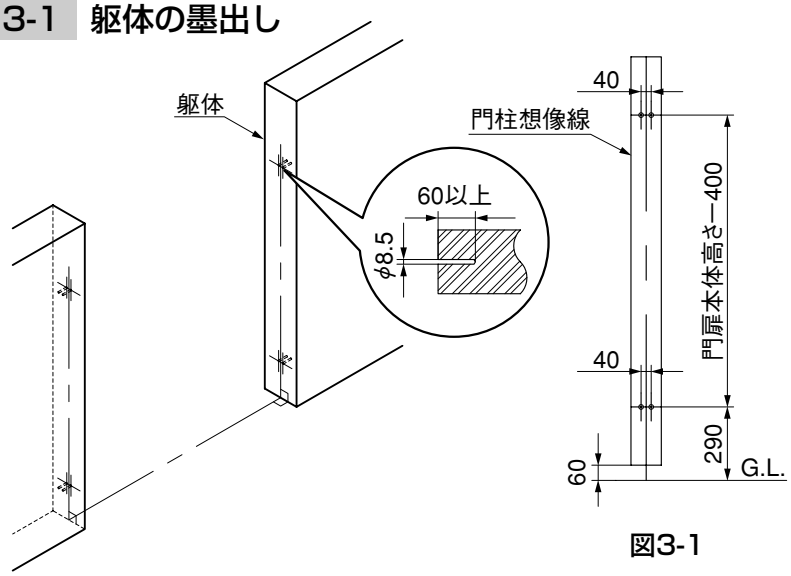


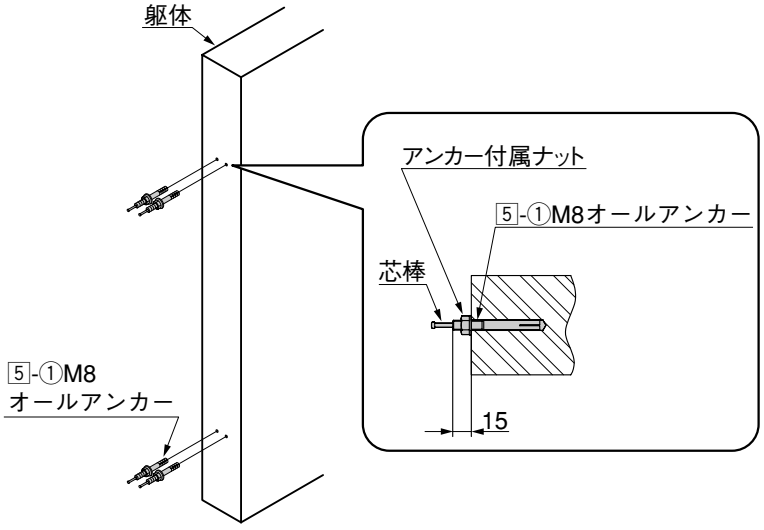
図3-1

❶ 躯体にアンカーボルトの孔あけ位置を墨出ししてください。（図3-1参照）
❷ φ8.5深さ60mm以上の下孔をあけてください。
❸ 孔内の切粉を除去してください。

補 足

● 躯体の間口寸法は「1.基本寸法と各部名称」を参照してください。

3-2 オールアンカーの打込み

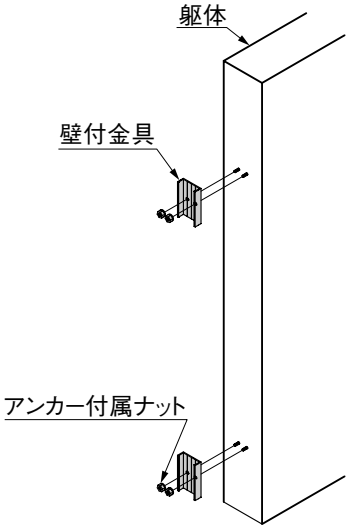


❶ 5-①を躯体の下孔に図のように差込んでください。
❷ 芯棒をハンマーで充分に打込んでください。
❸ アンカー付属ナットを一旦、取外してください。

補 足

● 外したアンカー付属ナットは、なくさないようにしてください。

3 -3 壁付金具の取付け



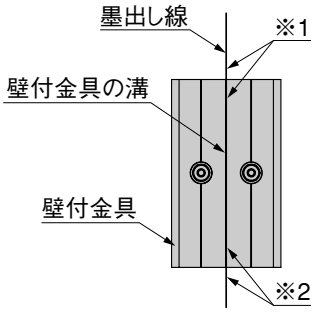
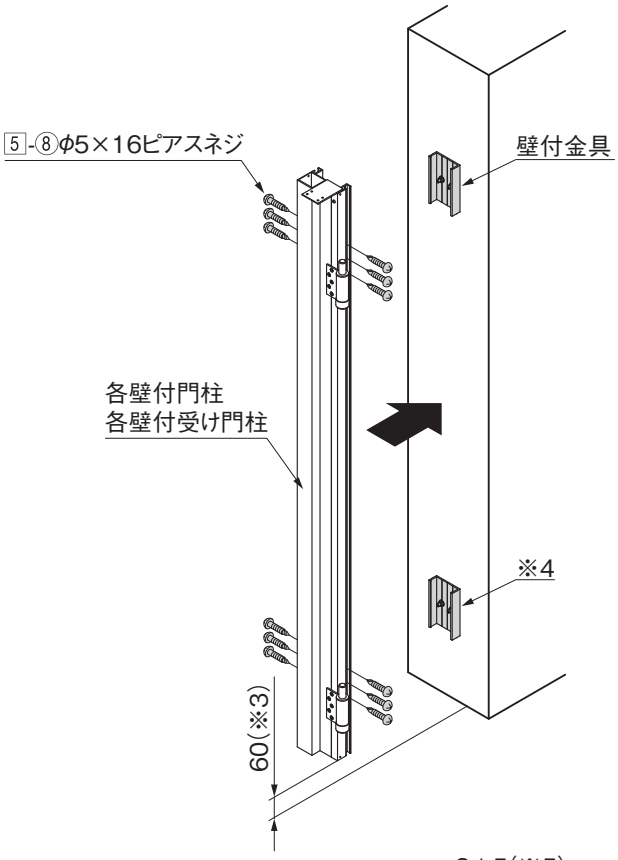


図3-2

❶ 壁付金具を躯体に取付けた5-①に取付けてください。
❷ 壁付金具の溝と墨出し線を合わせて（※1,※2）アンカー付属ナットで固定してください。（図3-2参照）

3 -4 壁付門柱または壁付受け門柱の取付け



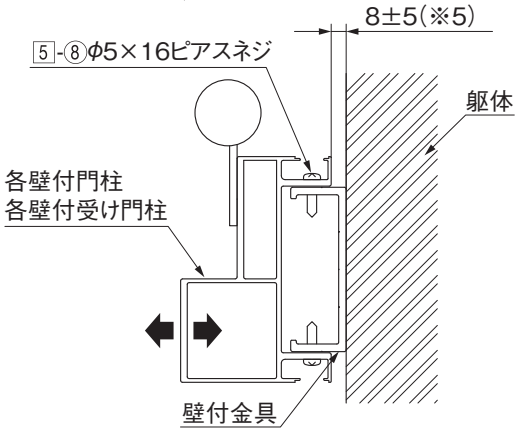


図3-3　門柱取付け調整範囲

❶ 壁付金具に各壁付門柱または各壁付受け門柱を5-⑧で取付けてください。

ポイント

- 各壁付門柱または各壁付受け門柱の形状下端とG.L.は60㎜あけて取付けてください。(※3)
- 壁付金具には取付け用の孔加工はありません。φ4～φ4.5の下孔をあけて取付けてください。(※4)
- 各壁付門柱または各壁付受け門柱は、垂直を出してから固定してください。

補 足

- 間口方向施工寸法は「1.基本寸法と各部名称」を参照してください。

注 意

- 調整寸法は8±5㎜の範囲にしてください。(※5)
  8±5㎜以上で取付けをすると、著しく取付け強度が低下します。

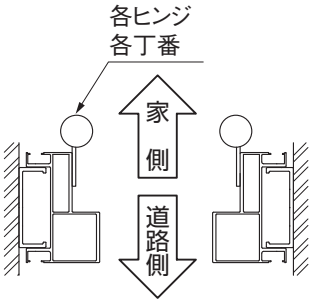


図3-4　内開き

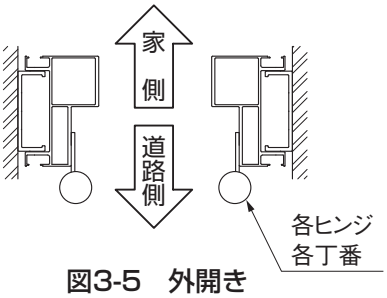


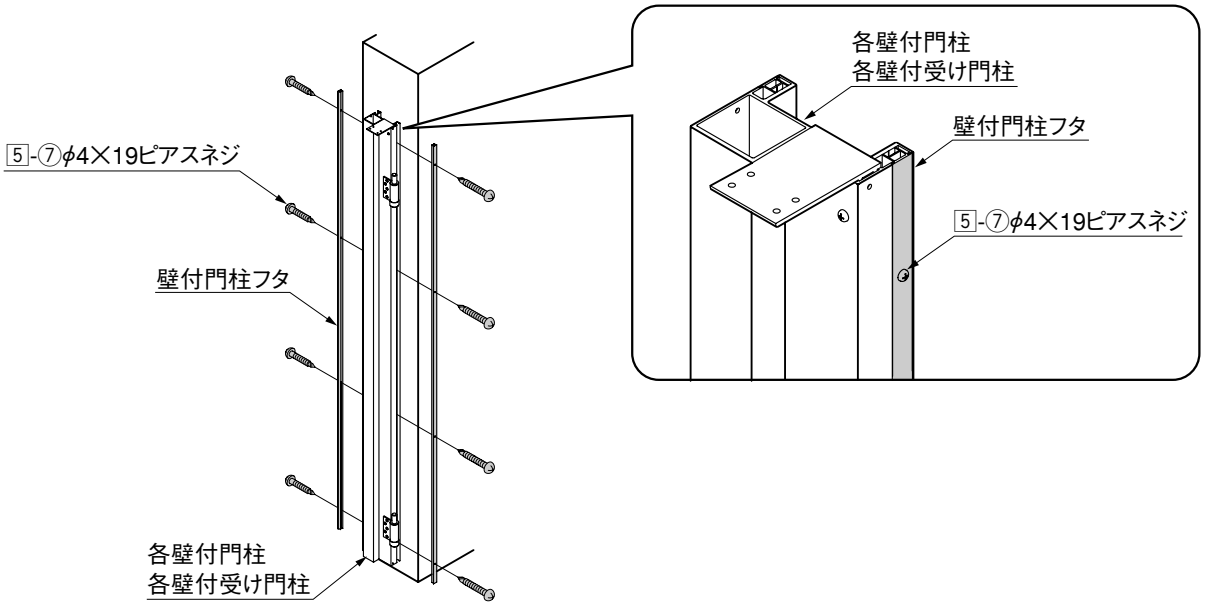
図3-5　外開き

補 足

- 各丁番は後で取付けます。

3.つづき

3-5 壁付門柱フタの取付け



❶ 各壁付門柱または各壁付受け門柱に壁付門柱フタを5-⑦で取付けてください。

ポイント

- 各壁付門柱または各壁付受け門柱には取付け用の孔加工はありません。
  φ3～φ3.5の下孔をあけて取付けてください。

メモ

4.門扉の吊込み

4 -1 門扉へのヒンジ上羽根の取付け

※柱A_オートクローザー仕様の作業です。
※オートヒンジに同梱の取扱説明書も合わせてご覧ください。

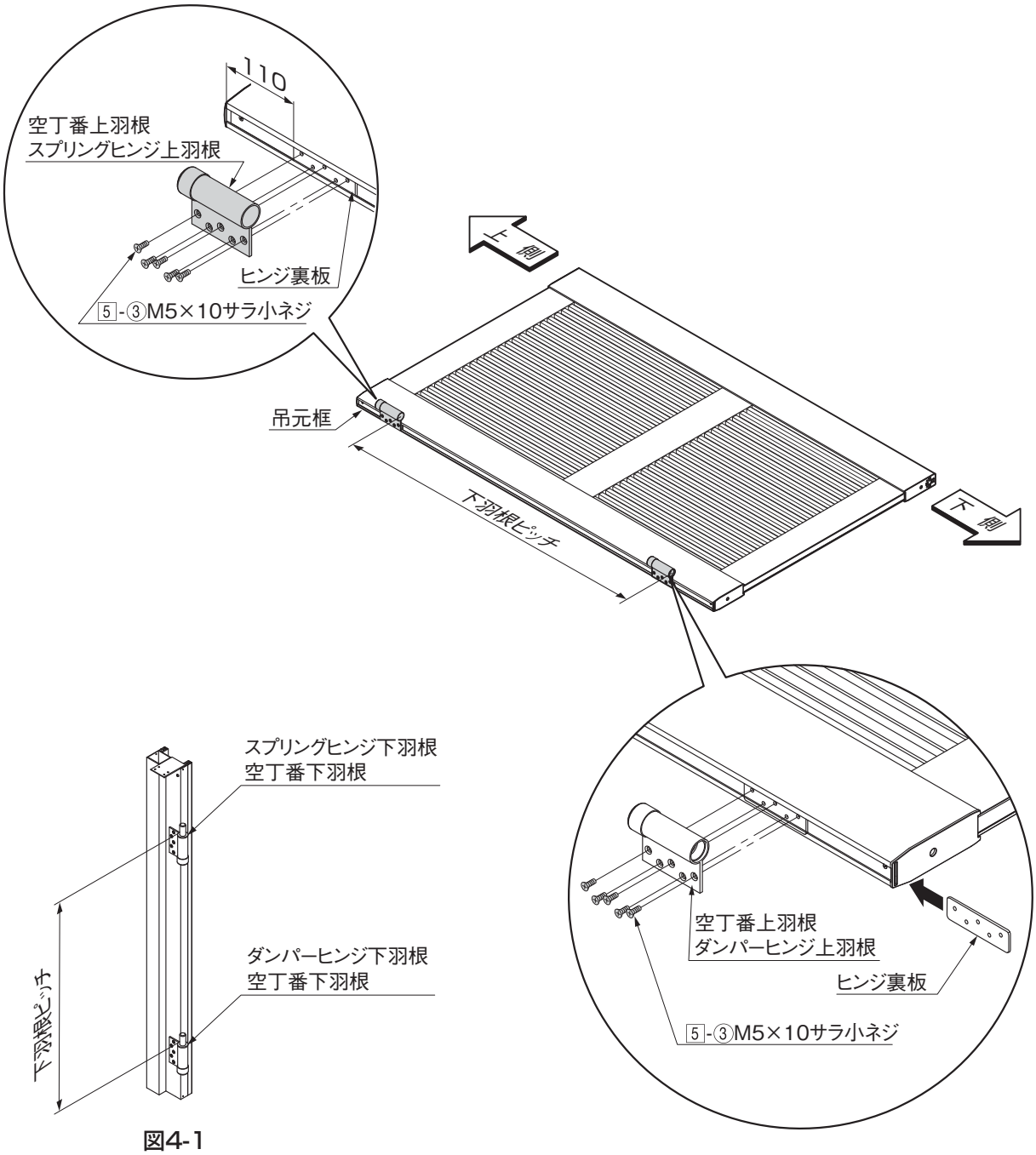


図4-1

❶ ヒンジ裏板を吊元框の下側からスライドして、空丁番上羽根またはスプリングヒンジ上羽根を吊元框上端から110㎜の位置に5-③で固定してください。
❷ ヒンジ裏板を吊元框の下側からスライドして、空丁番上羽根またはダンパーヒンジ上羽根を門柱に取付けた下羽根ピッチで5-③を使って固定してください。（図4-1参照）

4.つづき

4 -2 ヒンジ下羽根への吊込み

※柱A_オートクローザー仕様の作業です。
※オートヒンジに同梱の取扱説明書も合わせてご覧ください。

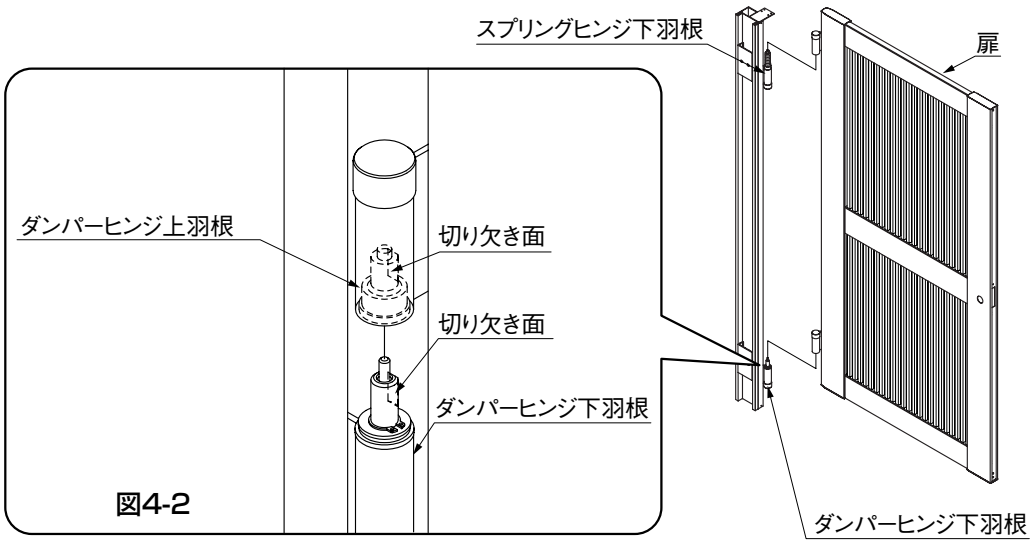


図4-2

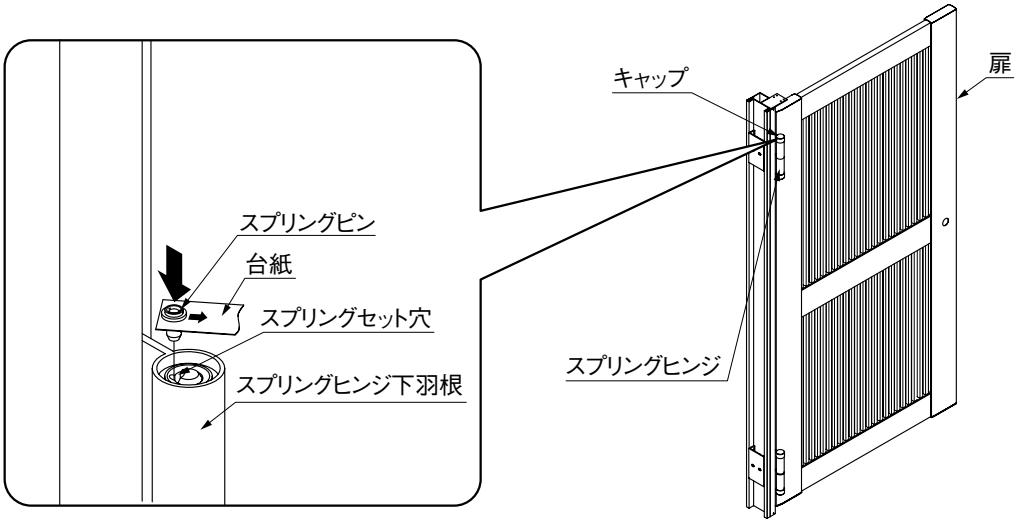
❶ 各門柱に取付けたスプリングヒンジ下羽根とダンパーヒンジ下羽根に扉を吊込んでください。

ポイント

- ダンパーヒンジ下羽根とダンパーヒンジ上羽根の切り欠き面を合わせて扉を吊込んでください。（図4-2参照）

4 -3 スプリングヒンジの打込み

※柱A_オートクローザー仕様の作業です。
※オートヒンジに同梱の取扱説明書も合わせてご覧ください。



❶ キャップをはずして、扉を0°～10°程度開けてスプリングセット穴が一致したところでスプリングピンを打ち込んでください。

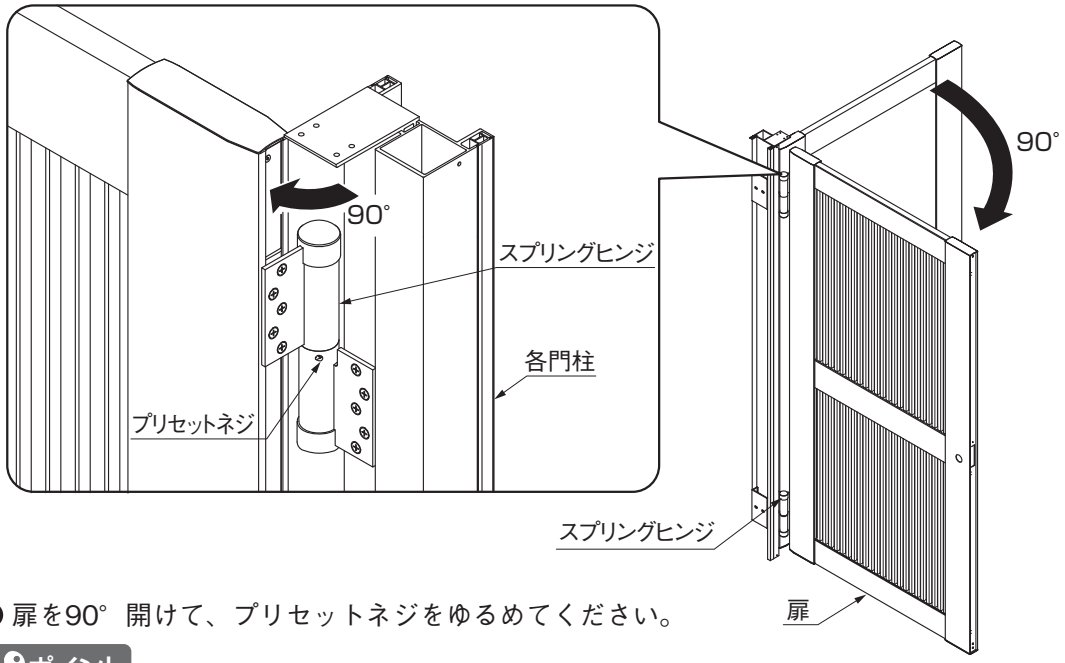
ポイント

- スプリングピンには打ち込み方向があります。
  台紙の注意書きを参照してください。

❷ キャップを元通りに取付けてください。

4 -4 プリセットネジの開放

※柱A_オートクローザー仕様の作業です。
※オートヒンジに同梱の取扱説明書も合わせてご覧ください。



❶ 扉を90°開けて、プリセットネジをゆるめてください。

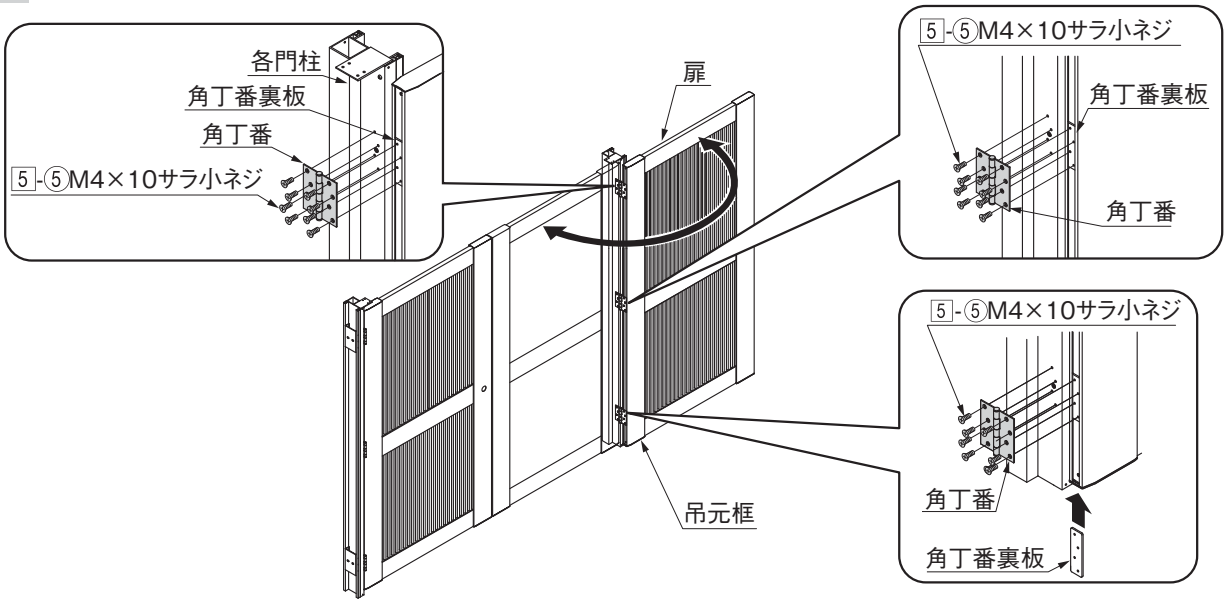
ポイント

- プリセットネジはスプリングヒンジ本体表面とプリセットネジ頭が同じ高さになるまでゆるめてください。
- スプリングピンを打ち込む前は絶対にプリセットネジをゆるめないでください。
- プリセットネジをゆるめないで無理に閉じないでください。

4 -5 開閉速度の設定 ※柱A_オートクローザー仕様の作業です。

❶ オートヒンジに同梱の取扱説明書の手順で設定してください。

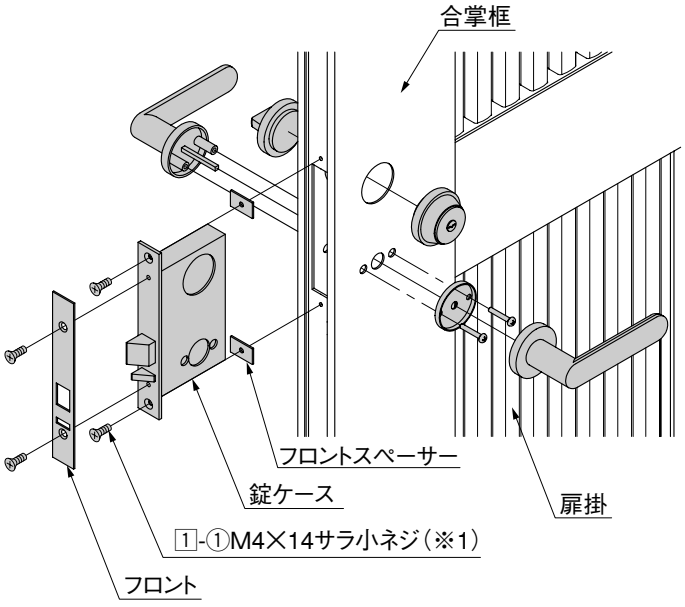
4 -6 柱B_角丁番仕様の吊込み ※図は柱B_角丁番仕様の作業です。



❶ 角丁番裏板を吊元框の下側からスライドして、角丁番を扉に5-⑤で固定してください。
❷ 角丁番を各門柱に5-⑤で固定して吊り込んでください。

5.錠の取付け　※錠金具は現地調達品です。

5-1 錠金具の掛扉への取付け



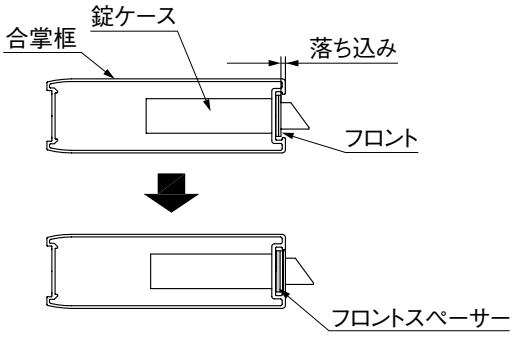


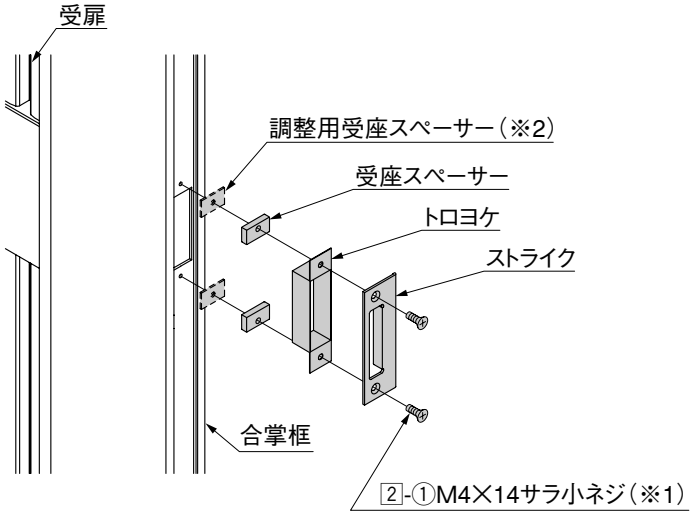
図5-1

❶ 錠金具を掛扉の合掌框に取付けてください。

補 足

- 錠金具の取付け詳細は、錠金具に添付の取付説明書をご覧ください。
- 錠金具に同梱のネジが短く、取付けが困難な時には、掛扉に同梱の1-①を使用して取付けてください。（※1）
- フロントスペーサーは錠の種類によって、フロントが合掌框から落ち込む場合に使用してください。（図5-1参照）

5-2 錠ストライクの受扉への取付け　※両開きの受扉の作業です。

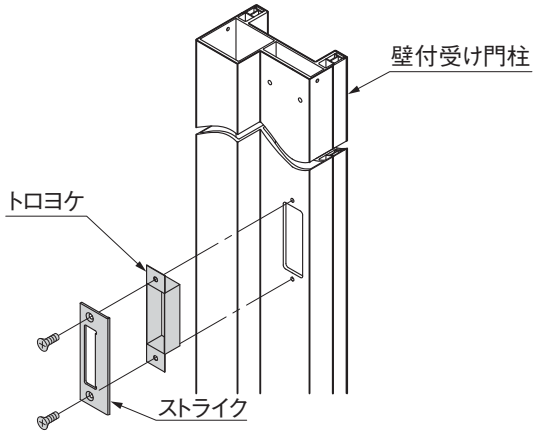


❶ ストライクを受扉の合掌框に取付けてください。

補 足

- ストライクの取付け詳細は、錠金具に添付の取付説明書をご覧ください。
- 錠金具に同梱のネジが短く、取付けが困難な時には、受扉に同梱の2-①を使用して取付けてください。（※1）
- 調整用受座スペーサーは必要に応じて使用してください。（※2）

5-3 錠ストライクの壁付受け門柱への取付け ※片開きの壁付受け門柱の作業です。



❶ ストライクを壁付受け門柱に取付けてください。

補 足

- ストライクの取付け詳細は、錠金具に添付の取付説明書をご覧ください。

6.戸当りの取付け

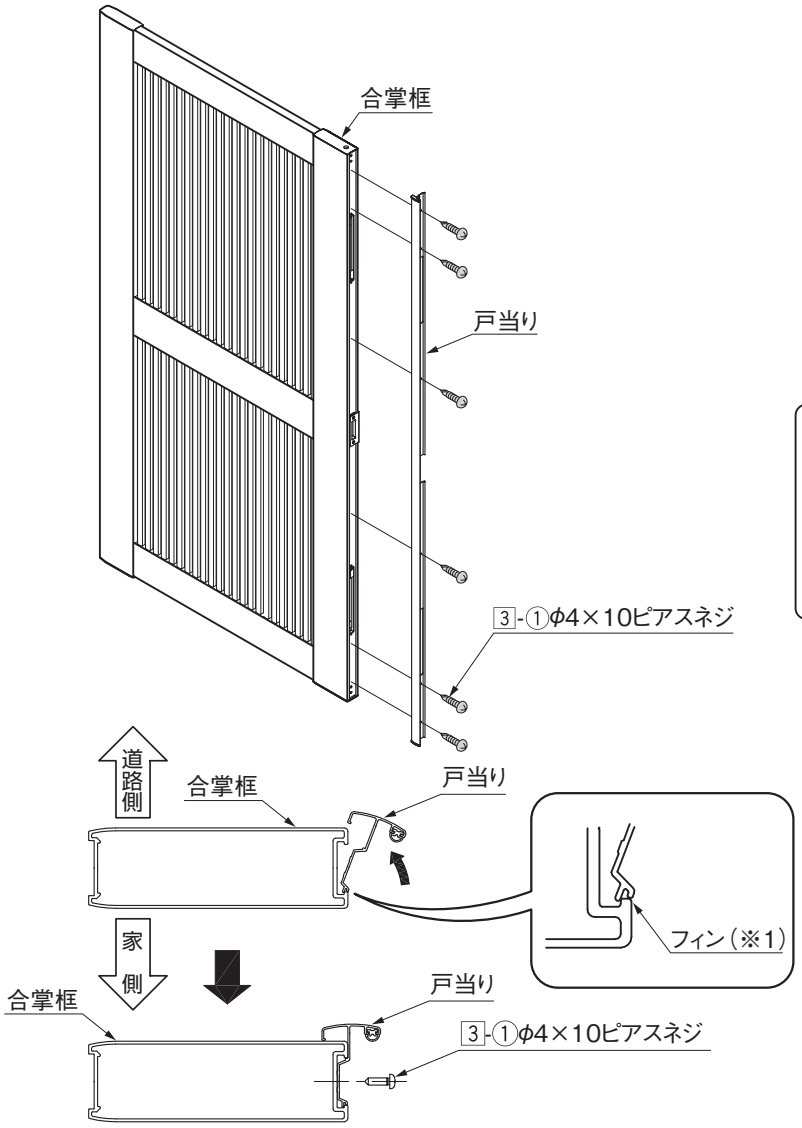


図6-1

❶ 合掌框のフィン（※1）に戸当りを引っ掛けて、3-①で取付けてください。

補 足

- 合掌框には戸当り取付け用の孔加工はありません。
- 戸当りを取付ける扉は、「1.基本寸法と各部名称」を参照してください。

7.門扉の調整

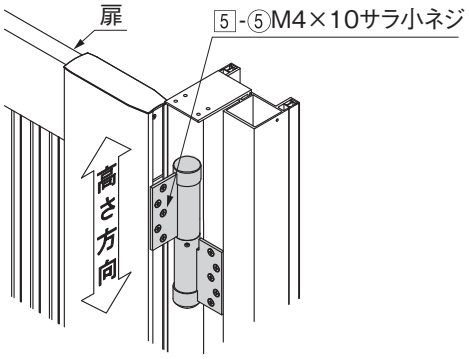


図7-1　壁付門柱Aの場合

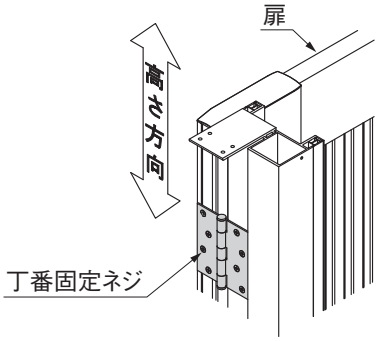


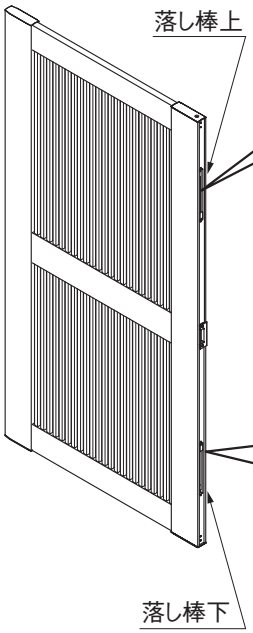
図7-2　壁付門柱Bの場合

❶ 高さ方向の調整方法は、扉側の5-⑤をゆるめ、扉をスライドしながら調整してください。

ポイント

- 門扉とG.L.のすき間は90㎜が標準です。

8.落し棒の操作確認



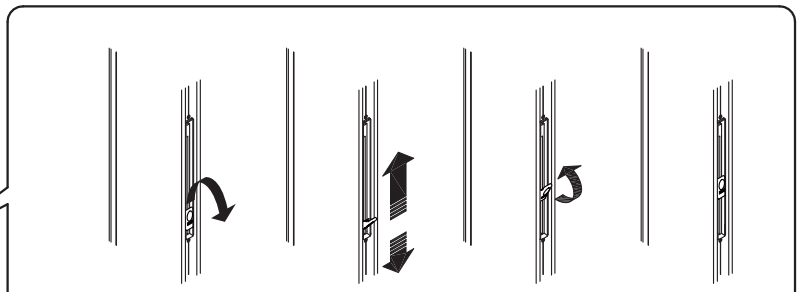


図8-1　図8-2　図8-3　図8-4

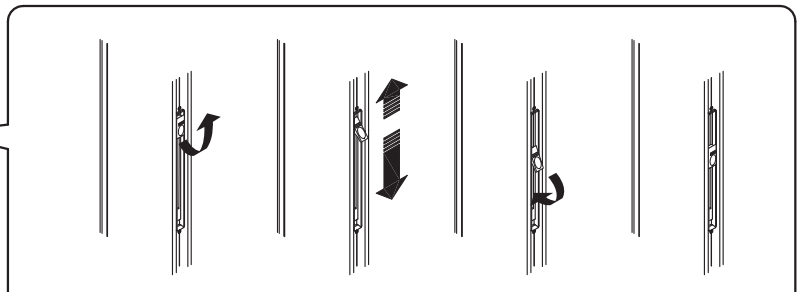


図8-5　図8-6　図8-7　図8-8

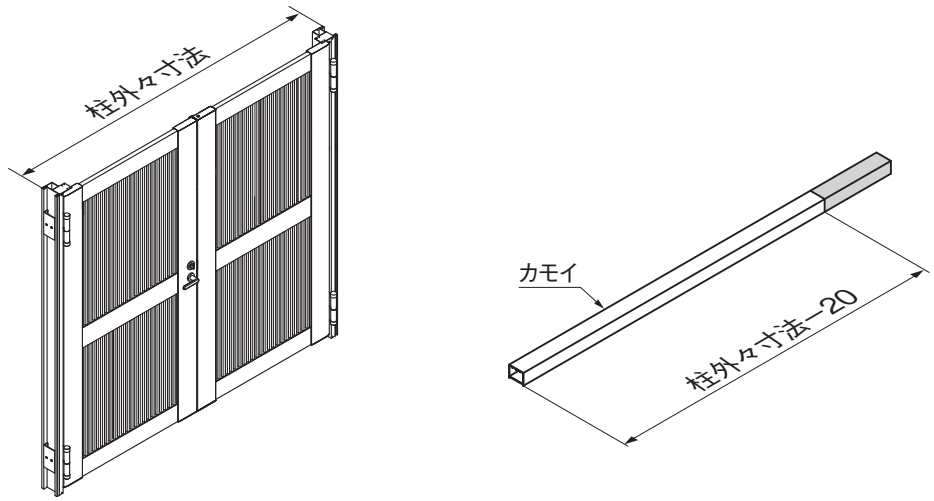
❶ 図のようにつまみを操作して、ロックを解除してください。（図8-1,図8-5参照）
❷ ❶で起こしたつまみをそのまま上下させて落し棒の位置を操作します。（図8-2,図8-6参照）
❸ 落し棒の位置が決定したら、落し棒上と落し棒下のつまみを元にもどしてロックしてください。
（図8-3,図8-7参照）

ポイント

- 落し棒操作時以外は、ロック状態にしてください。（図8-4,図8-8参照）

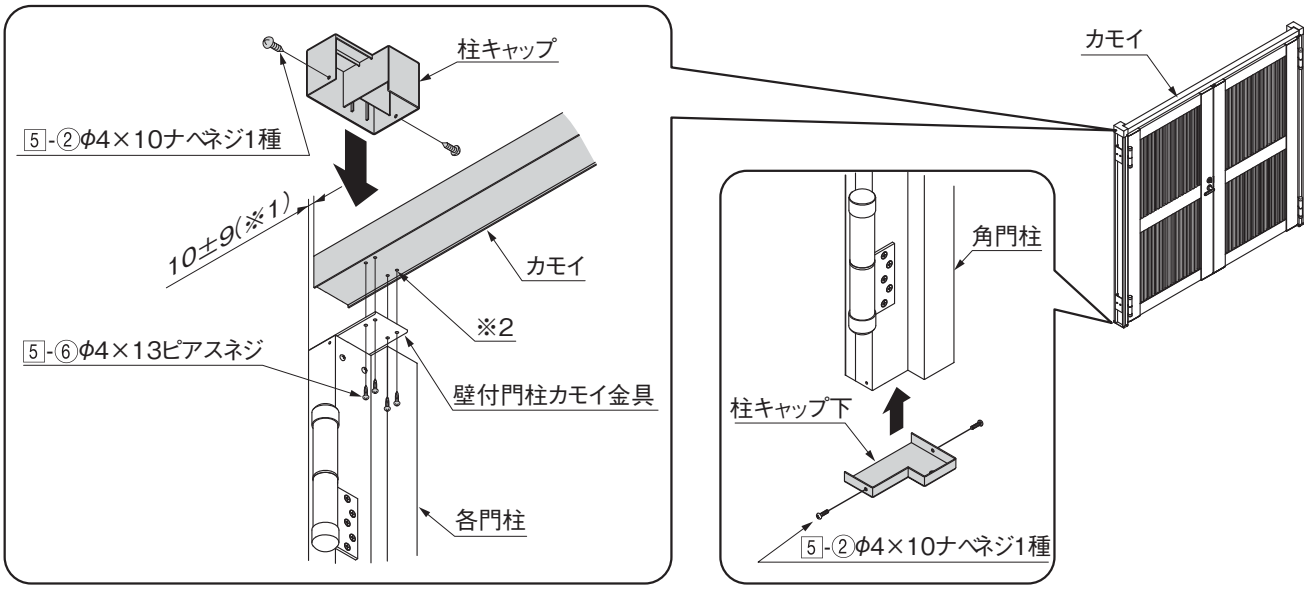
A394_201510D

9.カモイの切断



❶ 柱外々寸法を実測して、柱外々寸法−20㎜の長さでカモイを切断してください。

10.カモイの取付け



❶ 壁付門柱カモイ金具にカモイを5-⑥で取付けてください。
❷ 各門柱に柱キャップを5-②で取付けてください。
❸ 各門柱に柱キャップ下を5-②で取付けてください。

ポイント

- 各門柱とカモイは10±9㎜の寸法で取付けてください。(※1)
- カモイには取付け用の孔加工はありません。φ3〜φ3.5の下孔をあけて取付けてください。(※2)

注 意

- 上向きの孔あけ作業時には、アルミの切りクズが目に入らないように防護眼鏡を着用してください。

11.落し棒受けの施工　※両開き仕様の作業です。

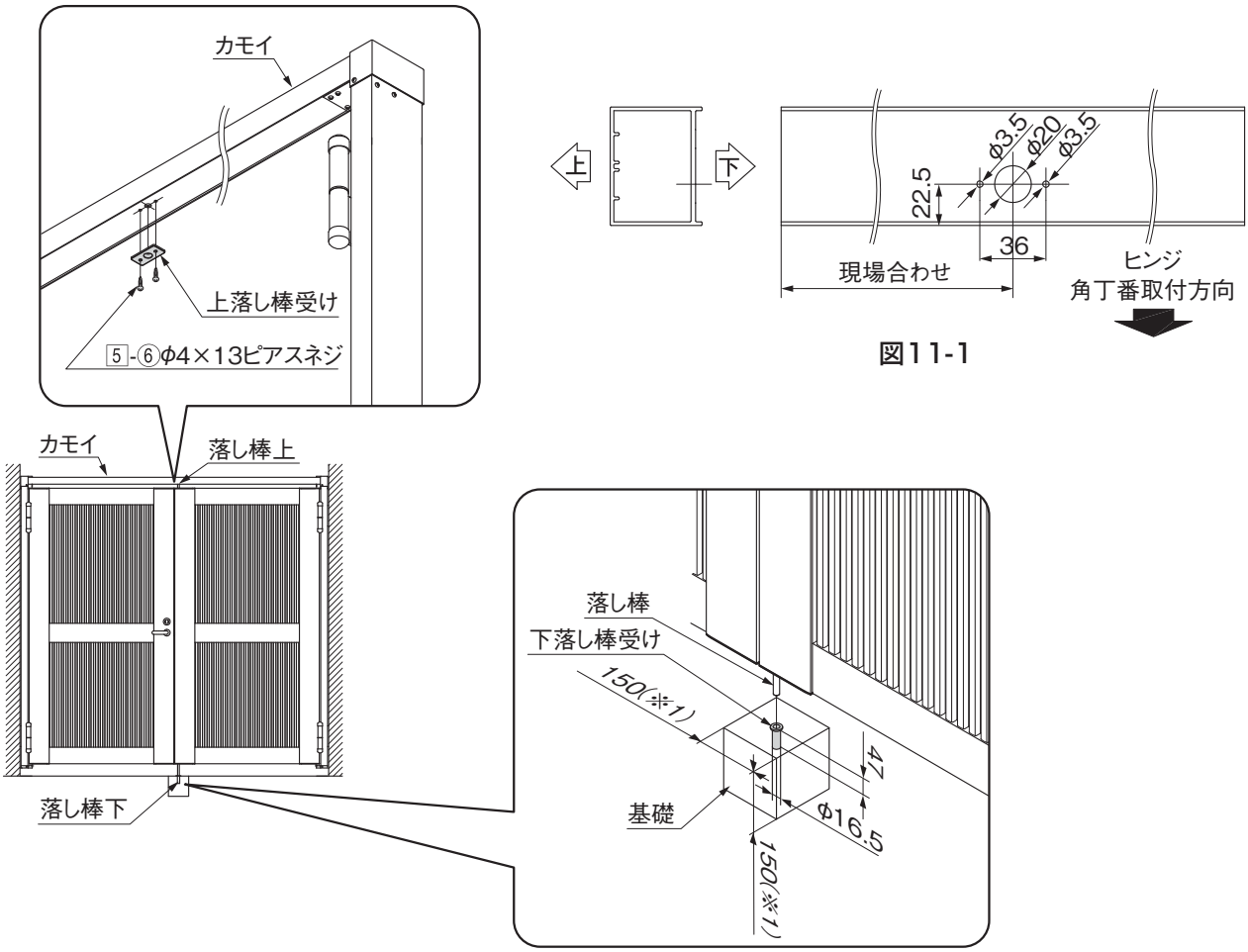


図11-1

❶ カモイに受扉を閉めた位置で落し棒上を収める位置にφ20とφ3.5の孔をあけてください。(図11-1参照)
❷ 孔加工をしたカモイに上落し棒受けを5-⑥で取付けてください。

注 意

- 上向きの孔あけ作業時には、アルミの切りクズが目に入らないように防護眼鏡を着用してください。

❸ 落し棒上を収めた状態で、落し棒下を収める位置に、下落し棒受けを施工してください。

ポイント

- 下落し棒受けの埋込み位置は、現場に合わせて施工してください。
- 基礎寸法は指定寸法以上にしてください。(※1)

補 足

- 落し棒は框の上下面からそれぞれ最大180㎜まで出す事ができます。
- 落し棒の操作方法は、「8.落し棒の操作確認」を参照してください。

取説コード
A394